

普及活動情勢報告（令和5年7月分）

高吾農業改良普及所

促成高糖度トマト、大玉トマトの新規就農者向け勉強会を開催



普及所では、JA高知県日高集出荷場及び農家のほ場を借りて、6月23日に大玉トマト2戸、7月10日に促成高糖度トマト1戸の新規就農者を対象に勉強会を開催しました。

次作から初めての栽培となるため、大玉トマト、高糖度トマトの栽培指針をもとに灌水管理や生育診断の方法等について説明を行いました。

農家からは、初めての栽培となるため、「不安」という声もありましたが、「基本的な内容に忠実に取り組めば失敗はないよ」という篤農家からの助言もあり、安心した様子でした。

普及所では、新規就農者の栽培がうまくいくように、JAなどとともに取り組んでいきます。

第1回高吾地区農業改良普及推進協議会を開催



6月29日、第1回高吾地区農業改良普及推進協議会を開催しました。農家代表4名とJA・町村職員と、令和5年度の活動計画を共有し、意見を交わしました。

農家代表からは、生産・品質向上の取組に対する意見と併せ、産地や地域農業の維持に必要な担い手や労働力の確保に関する意見が出されました。

普及所は、今回の意見をふまえ、本年度の活動及び来年度からの普及指導計画の策定にどのように反映するか、町村等関係機関と連携しながら取り組んでいきます。

整枝のポイントを確認～シシトウ整枝講習会～



7月12日、JA高知県越知支所越知シシトウ部会が越知町内の部会員ほ場で、シシトウ整枝作業についての講習会を開催し、生産者7名が参加しました。

普及所からは整枝・摘心のタイミングやその目的と方法について説明しながら、整枝作業の実演を行いました。

生産者からは「どちらの枝を残した方がよいか」、「伸びて交差した枝は切ってよいか」といった質問があり、自身の生育の状況を想定して整枝作業を見るなど、熱心な様子が伺えました。

普及所は、今後も個別巡回の中でフォローアップを行い、シシトウの生産安定を図っていきます。